

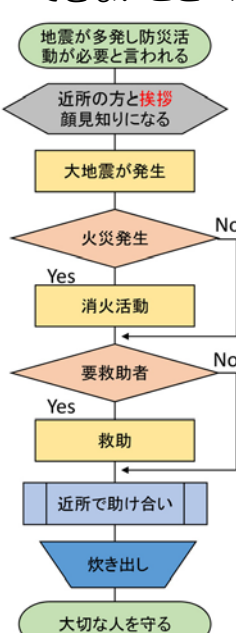
シリーズ 防災・思いの丈

今回の防災・思いの丈は、前回の続き「**防災フローチャート**」について考えてみます。

フローチャートをひと言でいえば「**処理の流れを明示したもの**」です。例えばプログラミングをするときに、実際のプログラムを作る前に「**どのような流れで処理が進むと効率が良いのか!**」と考えるときに作るものです。では、簡単な防災「**地震対応**」フローチャートを考えてみましょう。

全国的に大地震が多発しています。やはり防災活動（**備え**）をした方が良いと考えられます。そう考えている自分の所にも『大地震』が襲ってきた。そうなれば、火災の発生や、けが人がいたり、避難所開設や炊き出し等もやらなければならなくなります。火災に対して「消火」、けが人があれば「救護」、避難所や炊き出しでは「運営」等、次々と対応（判断）を迫られることになります。でも、それらの対応方法を事前に想定しておくのと、全くしないのとでは「対応力・判断のスピード」が全く違ってきます。そう考えると、「命に関わること」が起こった場合、命が「助かる or 助からない」と大きな違いになります。であるならば「**防災マニュアルをつくろう**」となるのですが、中々大変な作業となり、一般市民の場合は「できないなあ」と諦めてしまう場合の方が多いようです。

そこで「**防災フローチャート**」を作ってみることにしましょう。そうするとあなた自身の“できること” “できないこと” が判ってくるのです。



左記の図では「**普段から近所の方と挨拶して顔見知りになっている**」という設定の元、一連の流れができあがっています。しかし、ご近所の方を誰も知らなかった場合には、あなた自身で全部対応しなければならないし、普段の生活の中で、防災活動していなかった場合はどうなるのでしょうか。考えるだけでも恐ろしい事が起こります。ここからは「**防災活動をやっていない場合**」というかなり厳しい記述となりますが、ご理解ください。

【**想定1**】大地震が発生し、自宅はメチャクチャになった。家具が転倒し家族が下敷きになっているようだ。しかし自分も下敷きになり身動きがとれない。そんな中、火災が発生した。当然、火を消しに行くことなんてできない。どうすれば…。とは云っても、もう元には戻れません。これは非常に惨い想定です。しかし過去の災害では

これらは現実には起こったことなのです。そう「**実際の話**」です。だから、こうならないためにも「**防災活動の必要性**」があるのです。

さて「**普段から近所の方と挨拶して顔見知りになっている**」というこのポイントが、その後の対応速度に大きな違いを生じることになります。

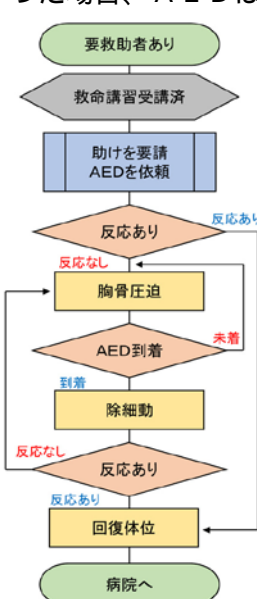
防災活動（**備え**）は知っているが「**ご近所を知らなかった場合**」はどうなるのか？考えてみましょう。

【**想定2**】大地震発生！家具の転倒防止をしていたので家族は助かった。でも火災が発生。火を消そうとするがたちまち大きな火になっていく。玄関を開けて「**火事だ〜**」と叫ぶが、普段から付き合いのないご近所。誰も出てきてくれない。火は大きくなる。自分の大切なものが燃えてしまう。消火器も足りない。「**誰かあ〜助けて〜**」でも、誰も出てこない。自宅は全焼。その上、火が燃え広がっていく。どうしようも無い。その時、みんな出てくるが火の勢いはおさまらず、町全体が燃えてしまった。これではダメですね！

【**大切なこと**】普段から近所で声を掛けあうことを実践しておく。「**あいさつ運動**」です。そうすると迅速な対応が可能となります。「**誰か助けて〜**」の声が聞こえる前に、自分の家が大丈夫であれば「**ご近所は大丈夫かなあ**」と考えます。そんな中で「**誰か助けて〜**」の声が聞こえれば、「**あの声は〇〇さんだ！すぐに助けに行こう**」となるはずです。

また「**うちのお父さんが大変なんです！意識が無いんです**」と聞けば、普段から地域で救命講習を開催し参加していると「**みんな出てきて〜。〇〇さんが大変だ**」。出てきた人に「**AED持ってきて**」「**救急車要請して**」「**心肺蘇生開始**」と次々に進んでいきます。

家具転倒で、胸を強打し心臓震盪（しんとう）に陥った場合、AEDは素晴らしい効果を発揮します。



【**定義**】あなたは何を守りたいのかを考えてみませんか？自分の大切な人を守ることと考えれば「**防災活動、地域コミュニティへの参加、挨拶を普段からする**」ということは、本当に簡単なことなのです。そんな簡単なことが「**人は中々できないものです**」しかし「**楽しく**」をキーワードにすることで心のハードルが下がります。

【**お願い**】少しの勇気を出して、ご近所の方に「**あいさつ**」してみませんか。必ずあなたが住む世界が変わっていくことに気づくはず。あなたの大切な人を守る為、日頃の生活の中で「**小さな勇気**」が必要です。次回は「**小さな勇気!**」